

ポルトガル月報

2015年10月号

(本報は報道等の公開情報を当館が取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

【主要ニュース】

- [内政・外交] 共和国議会選挙の実施 (4日), パソス・コエリョ新政権の発足 (30日)
- [経済] 2015年8月末の公的債務残高 (1日)

内政・外交

●共和国議会選挙の実施 (4日)

任期満了に伴う共和国議会選挙が実施され(投票率55.86%), 緊縮政策と構造改革継続の意向を示した連立与党(社会民主党(PSD)・民衆党(CDS/PP))が107議席を獲得, 議会の第一勢力となった。

22日, カヴァコ・シルヴァ大統領は, 今回の選挙結果を受け, 議席を獲得した各党と協議を行った後, 最終的に最大議席数を獲得したPSDのパソス・コエリョ現首相を次期首相に指名した。

【政党別議席獲得数(全230議席)】

政党	議席数	得票率
連立与党(PSD・CDS/PP)	107議席	38.36%
社会党(PS)	86議席	32.31%
左翼連合(BE)	19議席	10.19%
統一民主連合(CDU)	17議席	8.25%
人と動物と自然の党(PAN)	1議席	1.39%

●ソクラテス前首相の釈放 (16日)

検察庁は, 昨年11月に汚職, 脱税, 資金洗浄の容疑により逮捕され, エヴォラ拘置所での予防拘禁措置を受けた後, 本年9月4日から自宅拘禁下に置かれていたソクラテス前首相を, 捜査が妨害される可能性が低くなったこと, 十分な証拠が出揃ったことを踏まえ釈放する旨発表した。ソクラテス前首相は釈放後も引き続き国外への渡航, 関係者との連絡を禁止されている。

●共和国議会新議長の選出 (23日)

総選挙後初めて招集された議会にて議長選挙が行わ

れ, 社会党(PS), 左翼連合(BE), 共産党(PSP)の支持のもと, PSのフェロ・ロドリゲス議員が新議長に選出された。ポルトガル共和国議会では, 従来総選挙で最大の議席を獲得した政党から議長が選出されるのが慣例であったが, 今回初めて第二党から議長が選出されることになった。

●パソス・コエリョ新政権の発足 (30日)

カヴァコ・シルヴァ大統領の下で, コエリョ新政権の就任式が行われ, コエリョ現首相, 民衆党(CDS/PP)党首のパウロ・ポルタス副首相が各々再任, ほか大臣15名(再任8名), 副大臣36名(同14名)が就任した。同大統領は, 「ポルトガルは財政再建の国際公約を遵守しなくてはならない」と演説した。

新政権の政策プログラムは11月10日に議会で採決される見込みであり, 社会党(PS)が左翼連合(BE)及び共産党(PSP)の左派政党と共同して否決するかどうか注目されている。



(コエリョ首相(左)の就任演説に耳を傾けるシルヴァ大統領(右))

経済

●2015年8月末の公的債務残高(1日)

ポルトガル銀行は、2015年8月時点での公的債務残高が、2014年末よりも33億ユーロ増加し、2291億ユーロに達した旨発表した。

●7月の貿易収支(財)(9日)

国立統計院(INE)は、2015年8月の貿易収支(財)について、輸出33億4400万ユーロ(前年同月比3.3%増)、輸入42億2000万ユーロ(同1.7%増)であった旨、また、直近3か月(6~8月)については、輸出126億120万ユーロ(前年同期比5.8%増)、輸入150億2690万ユーロ(同2.4%増)で、貿易収支▲24億2570万ユーロとなっている旨発表した。直近3か月間における輸出入の主な品目別伸び率(前年同月比)は、以下のとおり。

輸出品目別：輸送機器関連(+10.8%)

燃料・潤滑剤(-10.7%)

輸入品目別：輸送機器関連(+10.5%)

燃料・潤滑剤(-24.2%)

[直近3か月の貿易収支推移]

	6月	7月	8月	合計
輸出額	4561	4696	3344	12601
前年同月比	8.8%	4.8%	3.3%	5.8%
輸入額	5405	5402	4220	15026
前年同月比	6.7%	▲0.9%	1.7%	2.4%
貿易収支	▲844	▲706	▲876	▲2425

(注) 輸出入及び貿易収支額の単位は百万ユーロ。

●長期国債の入札(14日)

ポルトガル国庫公債管理庁(IGCP)は、10年物及び22年物長期国債の入札を実施し、発行予定額(合わせて10~12.5億ユーロ)を上回る13億ユーロを調達した。調達額は10年物が9.5億ユーロ、22年物が3.5億で、落札平均利回りはそれぞれ2.397%及び3.233%であった。

●短期国債の発行(21日)

ポルトガル国庫公債管理庁(IGCP)は、3か月物及び11か月物短期国債の入札を実施し、発行予定額(合わせて10~12.5億ユーロ)を上回る合計14億ユーロを調達した。3か月物の落札額は3億ユーロ、落札平均利回りは-0.021%、応札倍率は3.4倍であった。また、11か月物の落札額は11億ユーロ、落札平均利回りは0.006%、応札倍率は1.8倍であった。

●2015年1~9月の予算執行状況(財政赤字)(23日)

財務省は、2015年1~9月の財政赤字について、31億5650万ユーロ(前年同期より8億9990万ユーロ減)と発表した。

社会・その他

●投資査証の発給(7日)

ポルトガル移民国境局(SEF)は、本年9月の投資査証の発給件数が37件(前月比2件増)であり、そのうち、36件が不動産購入によるもの、1件が資金移動によるものであったと発表した。投資総額は2110万ユーロであった。

●ポルトガルの大学の評価(11日)

米国紙「USニュース」が公表した大学ランキングで、リスボン大学が前年より25位ランクアップし、240位となった。ポルト大学は322位、コインブラ大学が405位、ミーニョ大学が457位であった。

●ポルトガルでの難民受け入れ(22日)

ポルトガル移民国境局(SEF)は、EUの難民受け入れ計画の一環でポルトガルが受け入れる難民の第一陣は、当初予定された30人を大幅に上回る100人程度であり、現在、イタリア及びギリシャに滞在しているシリア、イラク及びエリトリアからの難民がその大半を占めていると発表した。今後、全体でおよそ4500人の難民を全国(自治州を含めて)63の自治体で受け入れる予定。